

共謀罪攻防ドキュメント抄

★二度の廃案、継続につぐ継続の3年半

共謀罪は2003年3月国会に提出されましたが、衆議院の解散で廃案になり、再提出後も継続審議を繰り返して、2005年の通常国会に持ち越されました。それも郵政民営化関連法をめぐる衆議院の解散で二度の廃案になりました。

昨年の特別国会に三度目の提出がされ、共謀罪が完全に与野党の対決法案となる中で、衆議院法務委員会の採決もできず、継続審議になりました。

★06年通常国会三度の強行採決の試み

◎4月28日(金) 衆議院法務委員会で共謀罪の強行採決をはかる。強行採決しても5月の連休で世論の怒りは沈静化と判断するも頓挫。

◎5月19日(金) 与党と民主党の修正協議は決裂。強行採決を決するも、世論の激しい批判を恐れた小泉

首相は、衆議院の河野議長を動かし採決の見送りを求めました。河野議長は「共謀罪は国民の一大関心事になっている。強行採決は好ましくない」と述べたとはい採決回避。

◎6月1日～2日 与党が民主党案丸のみ採決を提案。次国会で修正という下心が表れて破綻。

★法務省・外務省がHPで危機感を吐露

共謀罪の継続審議が確定した国会終盤、「条約は必ずしも共謀罪の創設を求めているわけではない」という指摘に外務省は強い危機感を抱き、6月16日にHPで慌てて反論。

2006年6月22日、法務省はHPのトップに「『組織的な犯罪の共謀罪』に対するご懸念について」を出して、世論の批判に対し懸命に釈明。

とめたぞ！ 共謀罪 市民団体の共謀罪反対運動の記録

共謀罪の成立を阻止するために、国会議員、市民、法律家、表現者などのさまざまなたたかいが繰り広げられ、共謀罪の成立を阻止しました。

以下は通常国会での市民団体の運動を軸にした記録です。

★1月20日通常国会はじまる

盗聴法に反対する市民連絡会など15団体の呼びかけで共謀罪に反対する集会在26日に屋外、31日に院内で開かれました。国会冒頭からのこの院内外のたたかいは、共謀罪成立を許さないという市民の強い決意のあらわれでした。

1月26日

話し合うことが罪になる
共謀罪の新設に反対する市民の集い



◎2006年1月26日(木) 18:30～/◎文京区民センター2A集会室/◎講師：荻野富士夫(小樽商科大学教授)「治安維持法と共謀罪」、海渡雄一(弁護士)「共謀罪、ここが危険だ！」

◎呼びかけ：盗聴法(組対法)に反対する市民連絡会、日本消費者連盟、許すな！憲法改悪・市民連絡会、移住労働者と連帯する全国ネットワーク、ふえみん婦人民主クラブ、反差

別国際運動日本委員会、など15団体/◎参加者：約130名

1月31日

共謀罪の新設に反対する市民と議員の集い

◎1月31日(火) 13:00～/◎衆議院第二議員会館第四会議室/◎発言：篠田博之(日本ペンクラブ言論・表現委員会)、寺中誠(アムネスティ・インターナショナル日本)、国会議員・法律家 他

◎呼びかけ(同前)/◎参加者：約70名

2月28日

共謀罪の新設に反対する市民と議員の集い

◎2月28日(火) 13:00～/◎衆議院第二議員会館第二会議室/◎呼びかけ(同前)/◎参加者：約60名

★広がる共謀罪反対運動

衆議院法務委員会では早期に共謀罪の審議に入ろうとする与党と、審議入りをさせまいとする民主党・野党の攻防が繰り広げられていました。

こうした中、3月16日には市民と表現者の院内集会在開かれ、多くのジャーナリスト、表現者が参加し、発言しました。

以後、院内外で次々に市民と表現者の集会在もたれました。

3月16日

共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い

◎3月16日(木) 13:00～14:00/◎衆議院第二議員会館第一会議室

◎発言：国会議員、北村肇(『週刊金曜日』編集長)、木村まき(横浜事件第三次再審請求人)、斉藤貴男(ジャーナリスト)、篠田博之(日本ペンクラブ言論表現委員会)『創』編集長、岡本厚(『世界』編集長)、二木啓孝(日刊現代編集部長)、高田健(許すな！憲法改悪・市民連絡会)、寺



中誠（アムネスティ・インターナショナル日本）、法律家、他

◎主催：共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会／◎参加者：約140名

3月28日

共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い

◎3月28日（火）18:30～21:00／◎文京区民センター3A集会室／◎発言：木村まき（横浜事件第三次再審請求人）、矢野まなみ（移住労働者と連帯する全国ネットワーク）、さっちゃん（立川自衛隊監視テント村）／◎報告：「共謀罪の危険性と国会の状況」海渡雄一（弁護士）

◎パネルディスカッション：石坂啓（漫画家）、大谷昭宏（ジャーナリスト）、斉藤貴男（ジャーナリスト）、篠田博之（『創』編集長）、森達也（TVディレクター・映画監督・作家）、寺澤有（ジャーナリスト）、北村肇（『週刊金曜日』編集長）

◎主催：共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会／◎参加者：約230名

★共謀罪をめぐる攻防は、審議入りをめぐって大詰めの局面にはいっていました。

こうした中で、4月11日に市民と表現者の集いが開かれ、共謀罪の新設に反対する請願署名の第一次提出が行われました。第一次から三次までで計273,329筆の署名が提出されました。

第一次提出（4月11日）102,142筆

第二次提出（4月26日）61,000筆

第三次提出（6月9日）110,187筆

4月11日

共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い



第一次署名提出

◎4月11日（火）12:00～13:30／◎衆議院第二議員会館 第4会議室／◎主催：共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会／◎参加者：約80名

★4月21日、ついに共謀罪が審議入り

この日、与党は修正案を提出。5月の連休前に同修正案を委員会採決し、連休明け後の国会で共謀罪の成立をはかろうとしました。

共謀罪をめぐる攻防は一挙に白熱化し、4月25日の市民団体の集会、日弁連の集会など反対運動が次々に繰りひろげられました。民主党は対案をだし強行採決の動きに対抗。

与党は世論の強い共謀罪反対の声の前に強行採決することができませんでした。

4月25日

治安維持法公布から81年、いま共謀罪を問う市民の集い

◎4月25日（火）18:30～21:00／◎文京区民センター3A集会室／◎ビデオ上映：共謀罪MOVIE（ムービー）『共謀罪、その後』第1話／◎講演：「治安維持法と共謀罪」渡辺治（一橋大学教授）、「共謀罪と組織的犯罪処罰法」山下幸夫（弁護士）／◎呼びかけ：盗聴法（組対法）に反対する市民連絡会など市民団体／◎参加者：約120名

4月26日

**日本弁護士連合会主催
共謀罪に反対する大集会**

◎4月26日（水）18:00～20:00／◎弁護士会館2階講堂「クレオ」／◎発言：国会議員、ジャーナリスト、市民の方々
◎主催：日本弁護士連合会

★5月、与党と民主党の間で修正協議が行われました

しかし、共謀罪の成立を阻止したいという民主党の抵抗で協議は遅々としてすすみませんでした。

与党は、盛り上がる共謀罪に対する危惧、反対の強まりの中で、これ以上の遅れは認められないと、5月19日衆議院法務委員会で強行採決にふみだそうとしました。

ところが、世論の激しい批判を恐れた小泉首相は、衆議院の河野議長を動かし、採決の見送りを求めたため、与党はまもなく強行採決できませんでした。

5月11日

共謀罪の新設に反対する市民と表現者の院内集会

◎5月11日（木）12:00～13:00／◎衆議院第一議員会館第1会議室

◎発言：国会議員、篠田博之（『創』編集長 日本ペンクラブ言論表現委員会）、野中章弘（ビデオジャーナリスト）、美浦克教（新聞労連委員長・マスコミ文化情報労組会議議長）、吉岡忍（ノンフィクション作家）、森達也（映画監督/作家）、寺澤有（ジャーナリスト）、吉田司（ノンフィクション作家）、依義文（子どもと教科書全国ネット21）、他

◎主催：共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会／◎参加者：約130名

5月16日

共謀罪の強行採決を許さない緊急集会

◎5月16日（火）17:30～／◎衆議院議員面会所

◎主催：共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会／◎参加者：約100名

5月17日

「共謀罪」の強行採決に反対する！ 超党派国会議員と市民の緊急集会

◎5月17日（水）18:30～／◎星陵会館

◎発言：超党派国会議員、日弁連、刑事法学者、法律家、文化人、グリーンピース、アムネスティ、他

◎超党派国会議員呼びかけの集会

◎問い合わせ先：平岡秀夫事務所 03-3508-7091、保坂展人事務所 03-3508-7070、仁比聡平事務所 03-3508-8333／◎参加者：約200名

5月19日

5.19共謀罪の強行採決に抗議する緊急集会

◎5月19日（金）17:30～／◎衆議院議員面会所

◎発言：国会議員、市民、表現者 他

◎主催：共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会／◎参加者：約100名

★5月28日、街頭宣伝へ！ 6月1日、日比谷野音集会デモ

共謀罪の成立を許すまい！ の思いで盗聴法に反対する市民連絡会は渋谷ハチ公前、新宿駅東口で宣伝。

また、6月1日には、共謀罪、憲法、基地問題をたたかう市民団体、労働団体、表現者が手をつなぎ、日比谷野音で2,000人が参加し集会・デモが行われました。

共謀罪に反対する世論の高まりの中で、このままでは通常国会での共謀罪の成立は不可能と判断した与党は、今までの主張を撤回し、民主党案を丸みのするという大ペテン劇にはしりましたが、直ちにペテンがばれ、破綻。

5月28日
5月28日は共謀罪反対デー



◎5月28日(日) 13:00~14:30 渋谷ハチ公前
15:00~16:30 新宿駅東口(アルタ前)
◎主催:盗聴法(組織的犯罪対策法)に反対する市民連絡会
◎参加者:20名

6月1日
小泉暴走にSTOP! 6.1集会
共謀罪・憲法改悪国民投票法案・米軍再編に反対しよう



◎6月1日(木) /◎日比谷公園野外音楽堂
◎発言:福山真劫(フォーラム平和・人権・環境)、高田健(憲法共同会議)、富山洋子(共謀罪反対実行委/日本消費者連盟)、国会議員からの情勢報告、沖縄からの報告
◎参加者:約2,000名/◎主催:6.1集会実行委員会
◎連絡先:フォーラム平和・人権・環境/憲法共同会議/共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会

6月9日
共謀罪の新設に反対する市民と表現者の院内集会

市民の集い-第三次署名提出
◎6月9日(金) 12:00~13:30 /◎衆議院第二議員会館第一会議室 /◎主催:共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会 /◎参加者:約60名

★共謀罪、衆議院法務委員会で継続審議

6・1民主党修正案丸呑みという大ペテン劇の破綻の結果、打つ手をなくした与党はついに共謀罪の継続審議を余儀なくされました。

国会は終了しましたが、秋の臨時国会に向けて共謀罪反対の運動を強めていくため、6月30日市民団体、NGO・NPO、表現者が共催し、共謀罪反対のシンポを開催され、活発な議論が展開されました。

6月13日
「共謀罪」の新設に反対する！
超党派国会議員と市民の大集会

◎6月13日(火) 18:30~ /◎日本教育会館
◎超党派国会議員による呼びかけ
◎問い合わせ先:グリーンピースジャパン TEL 03-5338-9805、アムネスティ日本 TEL 03-3518-6777
◎参加者:約280名

6月30日
シンポジウム
改めて共謀罪を問う

◎6月30日(金) 18:30~ /◎東京しごとセンター(旧シニアワーク東京) B2講堂
◎司会:森原秀樹(反差別国際運動日本委員会)
◎基調提起:足立昌勝(関東学院大学教授)
◎シンポジウム:小倉利丸(富山大学教員)、海渡雄一(弁護士)、榎渕万里(ピースポート)、寺中誠(アムネスティ・インターナショナル日本)、旗手明(自由人権協会)
◎共催:共謀罪法案反対NGO・NPO共同アピール、共謀罪の新設に反対する市民と表現者の集い実行委員会、共謀罪に反対するネットワーク
◎参加者:約90名

終わらせようイラク占領 終わらせよう戦争の時代
WORLD PEACE NOW 9.9
戦争も暴力もない世界を
<http://www.worldpeacenow.jp/>

■日時:2006年9月9日(土) 開会:13:30
◎パレード出発:14:30 コース:明治公園→原宿駅前→表参道→青山通り→明治公園の一周コース
■場所:明治公園(BE-IN会場...JR総武線千駄ヶ谷駅下車徒歩5分 都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅下車A2徒歩5分)

【同時開催】
◆平和を祈る、愛といのちとARTのまつり
911BE-IN Vol.05 <http://be-in.jp/>
12:00~20:46(雨天決行) /ジョー山中/インリン・オブ・ジョイトイ/増山麗奈(桃色ゲリラ)、他
主催:BE-IN 2006実行委員会

市民連 出店予定!